

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371001559
事業所名	グループホーム名古屋一色の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 現管理者は自身が新管理者として交代する折に町内会に挨拶に出向いています。そこを契機に、「町内会の会合にも出席下さいよ」と誘われ、顔の見える関係へと発展しており、これまでも事業所の秋祭りにも近所の皆さんが集まってくださり、双方向での行き来があることから、今後の拡がりに更なる期待が膨らんでいます。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 話好きなメンバーで構成された運営推進会議は、年6回つつがなく開催されています。毎回和気あいあいとした雰囲気のなか、忌憚ない意見交換が成されています。そのため、質問を投げかけられることも多々あり、事業所での対応が難しい場合は法人に挙げて回答をもらうこともしばしばです。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市や区主催の研修会では、食中毒防止等主要なメニューとともに集団指導にも必ず参加しています。市役所介護指導課、区役所介護保険課・保護課とは連絡を取り合うよう努めており、特に保護課とは生活保護受給者のことで必然的に密な連携となっています。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 「言葉がけを工夫し、根気よく本人のチカラを引きだそう」とのホーム理念に基づいた取組みから、名古屋港水族館、なばなの里、熱田神宮など利用者の『行きたい場所』を巡る外出企画も積み重なって、毎月の恒例行事として昇華しています。次回の蟹尽くしの食事会には家族も加わる予定で、行事通して意見交換の機会をつくっています。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	—	—	○	○	○	○	○	◎	